



小山 暁 議員

TPP問題と 今後の農業振興策は

問 TPPに参加するかどうかをめぐる政府・与党の調整が大詰めを迎えているが、このことについての町長の見解を伺う。

答 (町長) 和水町では、12月1日に交渉参加に反対する意見を衆議院議長をはじめ関係閣僚へ提出したところである。このTPPに参加する場合、国がよほどの対策を講じない限り、農業は立ちいかなくなり、非常に危惧している。

問 農林省が9月7日に2010年農林業センサス結果の概要を公表したが、今回の結果と実態をどのように受け止め、今後の農業振興をどのように捉えているのか。

答 (経済課長) 農林業センサスの調査結果は、大変厳しいものがあるが、今後の農業

振興策としては、国庫補助事業の中山間地域総合整備事業(圃場整備)の早期着工に向けての予算確保と中山間地域の直接支払い制度及び農地水・環境保全向上対策の取り組みによる耕作放棄地の抑制等に努めていきたい。

安心・安全な公共施設の 整備と管理上の問題点

問 交通安全施設については、各行政区からの要望をとりまとめ、危険箇所の点検・確認を行いながら施設の施工設置の決定がなされていると思うが、申請から施工決定に至るまでの手続きや地元区長との協議は、どのようになっているのか伺いたい。

答 (総務課長) 毎年4月の区長会議で説明し、各行政区の区長さんから設置申請書を提出してもらっているが、今回指摘のあった施設設置申請については、支所と本庁で受付を行っている関係で、申請漏れがあったかもしれないが、そうであるならばお詫びしたい。

問 交通安全施設(カーブミラー等)の整備は、尊い人命にかかわる重要な事業であり、人命を守るためには、危険箇所を廃除し、いつも安心して通れるよう道路整備と管理の充実が急務であるが、三加和地区の町道水源開拓線、標高約300m地点は、道路幅員も極端に狭く、片側路肩は真下に落ち込む急傾斜となっており、大変危険であるにもかかわらず、いまだガードレールすら設置されていない。

答 (町長) この実態を町長はどう思われるか伺いたい。

答 (町長) 現場を見せてもらった。命にかかわることです。町は責任をもって取り組んでいきたい。



標高約300m地点の町道水源開拓線(ガードレール未設置区間)

問 有料施設である社会体育

施設『スカイドーム2000』のトレーニング機器の故障や男女シャワー・更衣室のタイル張りの壁の修理が、長期にわたりにまだ放置されたまま一般開放され続けていることにに対し、一般利用者から批判の声が上がっているが、なぜ修理しないのか、その理由と管理上問題はないのか。

答 (教育長) 利用者の皆様に大変ご迷惑をおかけしていることをお詫びする。今後早急に対応する。

問 修理予算は、前年度の地域活性化きめこまかな臨時交付金と本年度6月補正予算ですでに確済みであるにもかかわらず執行しないのは職務怠慢ではないのか! 日常の職員の指導はどうなっているのか。答弁願いたい。

答 (社会教育課長) 職員には、早急に対応するよう指導してきたが・・・今後利用者にご迷惑をかけないよう適切に対処していきたい。

これで大丈夫か

和水町観光交流振興計画

問 平成22年3月に策定された和水町観光交流振興計画には、本年3月12日に九州新幹線鹿児島ルートが全線開業するにもかかわらず、本計画での位置づけが希薄で、町の姿勢が欠落しているように思うが、町長の新幹線開業に向けての思いは、どこにあるのか伺いたい。

答 (町長) 和水町には、歴史的遺産や史跡が多くあり自然豊かな環境に恵まれており、都会からのお客様に対して、心のやすらぎを与える町として、又、元気をもち帰ってもらうような町としての対策や施策が必要と思う。

問 身体にまつわる素朴な神様『七郎神』の公衆トイレの水洗化整備計画は、どうなっているのか。

答 (事業課長) 『七郎神』公衆トイレの水は、谷水を利用した簡易水洗であるために揚水配管が頻繁に詰まるため今後は揚水ボーリング及び合併浄化槽の設置を考えている。